

2022 年度 事業報告

社会福祉法人 パプテスト心身障害児（者）を守る会
理事長 宮崎信義

2019 年 11 月に発生が確認された新型コロナウイルス SARS-COV2 (COVID-19)は、2023 年初頭までに八波を数えています。久山療育園重症児者医療療育センターとしては、重症心身障害児（者）やご家族、職員・ボランティア・地域の方々の感染を防止するために頻回の感染対策委員会を開催し、対策の統一を図って来ました。感染状況や対策の概略は以下の通りです。2020. 3. 12 WHOが新型コロナウイルス (COVID-19) のパンデミック（地球規模での大流行）宣言。2020. 3. 18 入園保護者の面会禁止。2020 年 7 月中旬～から日本において第二波の襲来。2020. 4. 16-5. 6「緊急事態宣言」が全国に発令。2020 年 12 月には、全国の重症心身障害施設 2 施設でクラスターが発生し、全国の重症心身障害施設に詳細が報告され、対策の実施が喚起された。2021. 4. 20～4. 30 第 1 回目新型コロナウイルス感染症ワクチン接種（職員・地域医療従事者）。2021. 11. 28 WHO の見解：「オミクロン株」は感染力が強く、数多くの変異部分があり再感染の可能性も高い。2021 年 7 月～新型コロナウイルス感染症の第 5 波。2022. 1. 7 新型コロナウイルスの感染の“第 6 波”（日本医師会）。2022. 1. 末 政府はオミクロン株「濃厚接触者」の待機期間を短縮。待機期間は原則 7 日間とする。2022. 2. 5～2. 20「まん延防止等重点措置」が 35 の都道府県に拡大。2022. 3. 21 全国的にまん延防止等重点措置が解除。2022. 6. 30 NHK 報道：主な要因は感染力の強いオミクロン株の亜種「BA. 5」の広がり指摘。2022. 7. 11 第 7 波。2022. 7. 22 政府：新社会経済活動を維持していくため、濃厚接触者に求める待機期間をこれまでの原則 7 日間から 5 日間に短縮。2022. 8. 22～23 久山療育園：職員対象の PCR 検査（13 回目）実施。2022. 10. 4 久山療育園：職員 COVID-19 抗原検査（毎週、SARS-CoV-2 ラピッド抗原キットで自己測定）開始し継続。2022. 10. 13 「第 8 波」の予測（2023 年 1 月下旬襲来か）。・・・2022. 12. 1 福岡県コロナ警報発動（病床使用率 30%超）。2022. 12. 25～2023. 1. 4 久山療育園：光棟クラスター感染者の類計は、利用者 15 人・職員 8 名。有症者 10 人にラゲブリオ投与。以下、枚挙にいとまがありません。今後の終息を毎日祈っています。

一方で、2022 年 2 月 24 日にロシアがウクライナに侵攻を開始し、1 年が経とうとしています。軍事力をもって現状変更を図ることへの国際的非難がなされるも解決の見通しが立っていません。新型コロナウイルス感染症と共に「危機の時代」にあると言えましょう。

久山療育園では、「危機の時代」にあっても尚、創立の理念を継承して行くことを再認識しています。2024 年 3 月までに策定を義務化されている「事業継続計画」（BCP）を実施することが現実的な重要性を帯びてきています。このような事態を受けて、2022 年度の「法人・施設運営の骨子と方向性」として以下のように提言を致しました。2022 年度年間主題として「重症児（者）医療福祉計画の継続：安全安心と更なる進展に」、開園祭テーマは「重症児（者）と共に健康と生活の質の豊かさを」でした。思い返せば、決意と共に祈りの課題でもありました。